

科目名	キャリアデザインA		科目ナンバリング	L-CUCA9-00. H	単位数 時間	1単位	対象 学年	1年	開講 学期	前期
			科目コード	B54017		30時間				
区分	キャリアサポート科目	必修	担当者名	馬上 達幸、石戸谷 繁、 スティーブン・マックウィニー			授業 形態	講義	オムニバス	
授業の概要等	<p>【授業の主旨】</p> <p>社会において幅広い活躍の場を持つ文学部の学生が、1年次より将来に対するビジョンを持つための第一歩とする「ヒロガク教養講話」と講義（集中）で進めていく。</p> <p>〔ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項〕</p> <p>ディプロマポリシーの3・4に関連し、カリキュラムポリシーの3・4に関連している。</p>									
到達目標	自らの将来について自分自身でキャリアデザインをしていくために、視野を広げ、必要な知識や技術を獲得する。									
授 業 計 画										
回	主 題			授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修				備 考		
第1回	オリエンテーション			この授業の受け方について説明する。（4月11日11:15～）						
第2回	ヒロガク教養講話、特別講話 （計13回分）			ヒロガク教養講話（木曜日11:15～12:00）、 特別講話を聴講する（詳細日程は別紙参照）						
第3回										
第4回										
第5回										
第6回										
第7回										
第8回										
第9回										
第10回										
第11回										
第12回	人生100年時代の働き方展望			現代の多様化した働き方や直面している課題を理解し、それらを主体的に選択して今後望まれる働き方、生き方を探求できるようにする。				4/20 馬上（集中）		
第13回	「自立するとは」			私たちが「自立」する一人の人間として生きるうえで大切なことを「役割」の視点から考える。				6/15 石戸谷（集中）		
第14回	「自分らしく生きる」			（事例）ある少女の生き方から、「生きること、学ぶこと、働くこと」の意味を考える。				6/15 石戸谷（集中）		
第15回	まとめ							集中		
評価方法及び評価基準	ヒロガク教養講話の聴講・感想（40%）集中授業への参加度、レポートの作成（60%）									
課題等	ヒロガク教養講話での感想、授業終了後に提示されるレポート									
事前事後学修	週90分程度の時間を使い、事前事後に講師のプロフィールや所属する事業所のことなどを調べること。									
教材教科書参考書	なし。									
留意点	11回～15回の授業として実施する。単位修得には全日程の出席を必須とする。 授業はオンデマンド形式で行われる可能性がある。その場合は、事前に通知する。									

科目名	キャリアデザインB		科目ナンバリング	L-CUCA9-01.U	単位数 時間	2単位	対象 学年	1年	開講 学期	後期
			科目コード	B54018		30時間				
区分	キャリアサポート科目	選択	担当者名	スティーブン・マックウィニー			授業 形態	講義	オムニバス	
授業の概要等	<p>【授業の主旨】 社会において幅広い活躍の場を持つ文学部の学生が、自分自身の大学生活や職業人生、キャリアについて、自らが主体となって構想し、実現していくために、社会の動きを学びながら自分の将来像を明確にする。そして自らの持つ能力を活かすキャリアデザインの形成を進めていく。 【ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項】 ディプロマポリシーの3・4に関連し、カリキュラムポリシーの3・4に関連している。</p>									
到達目標	自らの将来について自分自身でキャリアデザインをしていくために、視野を広げ、必要な知識や技術を獲得する。									
授 業 計 画										
回	主 題			授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修					備 考	
第1回	オリエンテーション			講義内容と文学部学生の就職状況						
第2回	キャリアビジョンの構築①			キャリアビジョンを考える／大学生活の過ごし方						
第3回	自己分析(基礎)			性格検査を使って自分の特徴・強みを知ろう						
第4回	自己分析(応用)			自分を伝える自己紹介／性格検査を活用して自己紹介文を作成						
第5回	キャリアビジョンの構築②			社会を知り、「働く」を考える／自分の働く目的「軸」を探す						
第6回	自己分析(発展)			適性診断MATCHplusで向いている仕事を見つけよう						
第7回	社会人のマナー			大学生活で身につけるマナー／アルバイトやサークルを通して社会力を身につける						
第8回	業界・企業研究①			業界と企業の情報収集／情報収集の重要性と方法を知る						
第9回	業界・企業研究②			視野を広げる企業研究／視野を広げる理由と方法を知る						
第10回	業界・企業研究③			企業研究ワーク／企業の情報を集めて発表するGD						
第11回	Yes! Aomori			青森県の魅力を考える						
第12回	インターンシップ講座			近年のインターンシップと参加方法/概要と参加方法						
第13回	本学で取得できる資格と留学について			資格を取ることで広がる選択肢について/留学という選択肢について考える。						
第14回	本学で取得できる資格と進学について			資格を取ることで広がる選択肢について考える。						
第15回	キャリアビジョンの構築③			キャリアビジョンを考える／講義を通して考えたことを伝えるGD						
評価方法及び評価基準	授業への参加度、議論への積極的参加、課題研究(レポート)の作成、プレゼンテーションから総合的に判断する。自らのキャリアデザインについて探求する姿勢が身に付いたか。									
課題等	授業時に提示する課題を行う。									
事前事後学修	授業時に提示された情報などをもとに、自ら情報を収集し、考えを深める。(週90分以上の事後学修を行うこと)									
教材教科書参考書	適宜資料配布									
留意点	インターンシップに参加する前に履修することが望ましい。 6回以上欠席の場合、単位取得不可。									

科目名	キャリアデザインC		科目ナンバリング	L-CUCA9-02. U	単位数 時間	2単位	対象 学年	2年	開講 学期	前期
	科目コード	B54019	30時間							
区分	キャリアサポート科目	選択	担当者名	文学部就職委員			授業 形態	講義	オムニバス	
授業の概要等	<p>【授業の主旨】 大学生のキャリア教育の一環として、働くことの意味や、社会人となるための基礎知識を講義と実習で学ぶ。講義を聴講した上で各自の希望する企業等において就業体験（インターン）をする。実習前に事前レポートを作成する。実習後、実習日誌と事後レポートを作成し、報告会で発表する。 【ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項】 ディプロマポリシーの3・4に関連し、カリキュラムポリシーの3・4に関連している。</p>									
到達目標	自らの将来について自分自身でキャリアデザインをしていくために、視野を広げ、必要な知識や技術を獲得する。									
授 業 計 画										
回	主 題			授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修					備 考	
第1回	オリエンテーション			インターンシップまでの流れの確認と事前事後の発表						
第2回	キャリアのスタートアップ			キャリアとは。2年生からはじめること						
第3回	キャリアビジョンの構築			「働く」とは。未来について考える。						
第4回	インターンシップ基礎講座①			近年のインターンシップの傾向と参加方法						
第5回	インターンシップ基礎講座②			インターンシップに向けた情報収集と参加のマナー						
第6回	業界・企業研究(基礎)			企業研究の必要性和チェックポイント						
第7回	業界・企業研究(応用)			インターンシップに向けたGD練習						
第8回	インターンシップガイダンス			就職課より提出書類や注意事項の説明						
第9回	インターンシップ事前発表			インターンシップ実習先の企業研究と志望動機・実習で身につけたいこと						
第10回	インターンシップ実習			各企業・事業所などにおいて実習					夏休み中実習	
第11回										
第12回										
第13回										
第14回										
第15回	インターンシップ事後報告会			インターンシップ経験に関して、意義や評価について発表する					夏休み終わり頃を予定	
評価方法及び評価基準	授業への参加度、議論への積極的参加、課題研究（レポート）の作成、プレゼンテーションから総合的に判断する。自らのキャリアデザインについて探求する姿勢が身に付いたかがポイントである。									
課題等	インターンシップの実施と事前・事後レポートの提出									
事前事後学修	授業時に提示された情報などをもとに、自ら情報を収集し、考えを深める。（週90分以上の事後学修を行うこと）7月中に受け入れ企業のマッチングをする									
教材教科書参考書	適宜資料配布									
留意点	インターンシップ実施前に履修することが望ましい。インターンシップは夏休みに行う。最低限2週間以上参加。2週間未満は単位取得不可。（1dayインターンシップは不可）インターンシップに行く前に必ず就職課に申し込み書類を提出すること。提出しない場合単位の対象にならない。									

科目名	キャリアデザインD		科目ナンバリング	L-CUCA9-03. U	単位数 時間	2単位	対象 学年	2年	開講 学期	後期
			科目コード	B54020		30時間				
区分	キャリアサポート科目	選択	担当者名	文学部就職委員			授業 形態	講義	オムニバス	
授業の概要等	<p>【授業の主旨】 大学生のキャリア教育の一環として、働くことの意味や、社会人となるための基礎知識を講義と実習で学ぶ。講義を聴講した上で各自の希望する企業等において就業体験（インターン）をする。実習前に事前レポートを作成する。実習後、実習日誌と事後レポートを作成し、報告会で発表する。 【ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項】 ディプロマポリシーの3・4に関連し、カリキュラムポリシーの3・4に関連している。</p>									
到達目標	自らの将来について自分自身でキャリアデザインをしていくために、視野を広げ、必要な知識や技術を獲得する。									
授 業 計 画										
回	主 題		授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修					備 考		
第1回	オリエンテーション		講義計画に関する説明・就職行事と就職情報室の説明							
第2回	企業研究・社会理解（1）		会社・企業の業態研究、社会状況など把握を通じて現代社会を理解する							
第3回	企業研究・社会理解（2）		会社・企業の業態研究、社会状況など把握を通じて現代社会を理解する							
第4回	企業研究・社会理解（3）		会社・企業の業態研究、社会状況など把握を通じて現代社会を理解する							
第5回	企業研究・社会理解（4）		会社・企業の業態研究、社会状況など把握を通じて現代社会を理解する							
第6回	企業研究・社会理解（5）		会社・企業の業態研究、社会状況など把握を通じて現代社会を理解する							
第7回	企業研究・社会理解（6）		会社・企業の業態研究、社会状況など把握を通じて現代社会を理解する							
第8回	自己分析・自己理解①		適性診断テストMatchplus受験と結果の振り返り							
第9回	自己分析・自己理解②		自己分析ツールの活用／「自分」について知る							
第10回	企業研究・社会理解(まとめ)		キャリアを考える。「働く」とは							
第11回	社会人としてのマナーと服装		就活時の服装等について（スーツの選び方・着方）							
第12回	自己分析・自己理解③		「自分」について文章にするワーク							
第13回	自己分析・自己理解④		「自分」を伝えるポイント							
第14回	自己分析・自己理解⑤		「自分」について話すワーク							
第15回	就活まとめ講座		3年生に向けた就職活動準備							
評価方法及び評価基準	授業への参加度、議論への積極的参加、課題研究（レポート）の作成、プレゼンテーション、振り返りシートから総合的に判断する。自らのキャリアデザインについて探求する姿勢が身に付いたかがポイントである。									
課題等	授業時に提示する課題を行う。振り返りシート。									
事前事後学修	授業時に提示された情報などをもとに、自ら情報を収集し、考えを深める。（週90分以上の事後学修を行うこと）									
教材教科書参考書	適宜資料配布									
留意点	最終回に振り返りシートを配布する。評価に入るので必ず提出すること。 6回以上欠席の場合、単位取得不可。									

科目名	キャリアデザインE		科目ナンバリング	L-CUCA9-04. U	単位数 時間	2単位	対象 学年	3年	開講 学期	前期
			科目コード	B54021		30時間				
区分	キャリアサポート科目	選択	担当者名	文学部就職委員			授業 形態	講義	オムニバス	
授業の概要等	<p>【授業の主旨】 社会において幅広い活躍の場を持つ文学部の学生が、自分自身の大学生活や職業人生、キャリアについて、自らが主体となって構想し、実現していくために、社会の動きを学びながら自分の将来像を明確にする。そして自らの持つ能力を活かすキャリアデザインの形成を進めていく。 【ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項】 ディプロマポリシーの3・4に関連し、カリキュラムポリシーの3・4に関連している。</p>									
到達目標	自らの将来について自分自身でキャリアデザインをしていくために、視野を広げ、必要な知識や技術を獲得する。									
授 業 計 画										
回	主 題			授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修					備 考	
第1回	オリエンテーション			本学の就職状況・就職情報室・就職課の説明・就活スケジュール						
第2回	就活スタートアップ講座			就活スタートアップ(就活モデルと自己分析ワーク)						
第3回	インターンシップ&キャリア講座			企業・仕事探しの軸を仮でつくってみよう						
第4回	自己分析①			自分について知る(性格検査)						
第5回	企業・業界研究①			気になる業界・企業を知る						
第6回	企業・業界研究②			業界研究ワーク						
第7回	企業・業界研究③			業界研究ワーク						
第8回	着こなし講座			印象のいい身だしなみとスーツの選び方						
第9回	筆記試験・適性検査準備講座			模擬webテスト						
第10回	選考対策①			選考スケジュールの確認と準備						
第11回	企業・業界研究④			インターンシップで集めた情報の活用						
第12回	自己分析②			自分について文章で表現する						
第13回	選考対策②			選考書類を書いてみる						
第14回	選考対策③			模擬面接(自分について話す練習)						
第15回	質問力アップ講座			企業との接点での質問と効率的な夏休みの過ごし方						
評価方法及び評価基準	授業への参加度、議論への積極的参加、課題研究(レポート)の作成、プレゼンテーション、振り返りシートから総合的に判断する。自らのキャリアデザインについて探求する姿勢が身に付いたかがポイントである。									
課題等	授業時に提示する課題を行う。振り返りシート。									
事前事後学修	授業時に提示された情報などをもとに、自ら情報を収集し、考えを深める。週3時間以上の事後学修を行うこと。									
教材教科書参考書	適宜資料配布									
留意点	6回以上欠席の場合、単位取得不可。									

科目名	キャリアデザインF		科目ナンバリング	L-CUCA9-05. U	単位数 時間	2単位	対象 学年	3年	開講 学期	後期
			科目コード	B54022		30時間				
区分	キャリアサポート科目	選択	担当者名	文学部就職委員			授業 形態	講義	オムニバス	
授業の概要等	<p>【授業の主旨】 社会において幅広い活躍の場を持つ文学部の学生が、自分自身の大学生活や職業人生、キャリアについて、自らが主体となって構想し、実現していくために、社会の動きを学びながら自分の将来像を明確にする。そして自らの持つ能力を活かすキャリアデザインの形成を進めていく。 【ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項】 ディプロマポリシーの3・4に関連し、カリキュラムポリシーの3・4に関連している。</p>									
到達目標	自らの将来について自分自身でキャリアデザインをしていくために、視野を広げ、必要な知識や技術を獲得する。									
授 業 計 画										
回	主 題			授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修				備 考		
第1回	オリエンテーション			授業内容の説明・評価について						
第2回	就活実践講座①			夏インターン振り返り、視野を広げる						
第3回	就活スタートアップ講座			3年後期からの就職活動復習						
第4回	就活実践講座②			就活の軸について考える						
第5回	就活実践講座③			選考書類を書いてみる(長所・短所)						
第6回	メンタルヘルス			就活に関する相談、悩み、心のケアについて						
第7回	就活実践講座④			選考書類のポイントと就活のマナー						
第8回	就活実践講座⑤			選考書類を書く(自己PR)						
第9回	就活実践講座⑥			面接対策～模擬面接会に向けて～①実践						
第10回	就活実践講座⑦			面接対策～模擬面接会に向けて～②実践						
第11回	模擬面接会(企業・施設・公務員等)			模擬面接の実施(参加者はスーツ着用のこと。事前に企業研究が必要)						
第12回	直前期総まとめ講座①			いざ本番! 応募から入職までの流れと社会人マナー						
第13回	就職活動報告会(就活祭)			文4年内定者による就職活動報告						
第14回	就活実践講座⑧			選考書類を書く(志望動機)						
第15回	直前期総まとめ講座②			現状のチェックと2月末までにやることと今後の計画						
評価方法及び評価基準	授業への参加度、議論への積極的参加、課題研究(レポート)の作成、プレゼンテーション、振り返りシートから総合的に判断する。自らのキャリアデザインについて探求する姿勢が身に付いたかがポイントである。									
課題等	授業時に提示する課題を行う。振り返りシート。									
事前事後学修	授業時に提示された情報などをもとに、自ら情報を収集し、考えを深める。週3時間以上の事後学修を行うこと。									
教材教科書参考書	適宜資料配布									
留意点	6回以上欠席の場合、単位取得不可。									

科目名	教職教養 A		科目ナンバリング	L-CUCA9-10. U	単位数 時間	2単位	対象 学年	2年	開講 学期	前期
			科目コード	B54001		30時間				
区分	キャリアサポート科目	選択	担当者名	奥野 武志、山本 尚樹			授業 形態	講義	単独	
授業の概要等	<p>【授業の主旨】</p> <p>本授業は、現在の教員採用試験で課される教職教養の試験問題を題材として、採用する側がどのような意図で出題しているのかについてグループに分かれて議論する。そして、議論を通じて気づいたことを各自が文章化することを通じて、現在の教職のあり方について考察を深めて行くことを目指す。</p> <p>【ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項】</p> <p>ディプロマポリシーの3・4に関連し、カリキュラムポリシーの3・4に関連している。</p>									
到達目標	<p>1) 現在の教員が身につけておくべき教養とはどのようなものか理解し、他者に説明できる。</p> <p>2) 教職教養の試験がどのような意図で課されているのか理解し、他者に説明できる。</p>									
授 業 計 画										
回	主 題		授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修					備 考		
第1回	導入		・ 本科目のオリエンテーション					グループワーク ディスカッション		
第2回	教育心理の問題 (5)		・ 教育評価					グループワーク ディスカッション		
第3回	教育心理の問題 (6)		・ 性格と適応					グループワーク ディスカッション		
第4回	教育心理の問題 (7)		・ 心理療法 学級集団					グループワーク ディスカッション		
第5回	教育法規の問題 (1)		・ 教育の基本理念 教育の目的・目標					グループワーク ディスカッション		
第6回	教育法規の問題 (2)		・ 日本国憲法 学校教育に関する法規					グループワーク ディスカッション		
第7回	教育法規の問題 (3)		・ 学校運営 学校保健・安全、学校給食 教科書・補助教材と著作権					グループワーク ディスカッション		
第8回	教育法規の問題 (4)		・ いじめ・不登校・児童虐待 児童生徒の懲戒と体罰					グループワーク ディスカッション		
第9回	教育法規の問題 (5)		・ 教職員					グループワーク ディスカッション		
第10回	教育法規の問題 (6)		・ 教育委員会					グループワーク ディスカッション		
第11回	教育時事の問題 (1)		・ 教育改革					グループワーク ディスカッション		
第12回	教育時事の問題 (2)		・ 特別支援教育					グループワーク ディスカッション		
第13回	教育時事の問題 (3)		・ 問題行動等の調査結果 国内外の学力調査					グループワーク ディスカッション		
第14回	教育時事の問題 (4)		・ 重要答申等 チームとしての学校					グループワーク ディスカッション		
第15回	教育時事の問題 (5)		・ 教員の資質能力の向上 学校と地域の連携・協働					グループワーク ディスカッション		
評価方法及び評価基準	<p>評価項目及び評価の割合は以下の通りとする。</p> <p>・ 平常点：100% グループワークへの参加度・振り返りの充実度を評価する。</p>									
課題等	<p>・ 教師は毎回の授業でグループ発表に対してコメントする。</p> <p>・ 振り返りはteamsを通じて提出する。</p>									
事前事後学修	<p>・ 事前学修：指定された問題を解いて疑問点をまとめておく。</p> <p>・ 事後学修：授業を通じて浮かんだ疑問について調べる。事前事後合わせて3時間程度の学修を想定している。</p>									
教材教科書参考書	<p>・ 教科書 『教職教養の要点理解 2025年度版』時事通信出版局、2023年 (ISBN:978-4788719200)</p> <p>『教職教養の演習問題 2025年度版』時事通信出版局、2023年 (ISBN:978-4788719217)</p>									
留意点	<p>・ 授業計画はあくまで予定である。参加学生の興味関心等に応じて授業内容が変わることがある。</p>									

科目名	教職教養B		科目ナンバリング	L-CUCA9-11.U	単位数 時間	2単位	対象 学年	2年	開講 学期	後期
			科目コード	B54002		30時間				
区分	キャリアサポート科目	選択	担当者名	奥野 武志、山本 尚樹			授業 形態	講義	単独	
授業 の 概要 等	<p>〔授業の主旨〕 本授業は、現在の教員採用試験で課される教職教養の試験問題を題材として、採用する側がどのような意図で出題しているのかについてグループに分かれて議論する。そして、議論を通じて気づいたことを各自が文章化することを通じて、現在の教職のあり方について考察を深めて行くことを目指す。</p> <p>〔ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項〕 ディプロマポリシーの3・4に関連し、カリキュラムポリシーの3・4に関連している。</p>									
到達 目標	<p>1) 現在の教員が身につけておくべき教養とはどのようなものか理解し、他者に説明できる。 2) 教職教養の試験がどのような意図で課されているのか理解し、他者に説明できる。</p>									
授 業 計 画										
回	主 題		授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修					備 考		
第1回	導入		・ 本科目のオリエンテーション					グループワーク ディスカッション		
第2回	教育原理の問題 (1)		・ 教育課程 教授と学習 学習指導					グループワーク ディスカッション		
第3回	教育原理の問題 (2)		・ 生徒指導					グループワーク ディスカッション		
第4回	教育原理の問題 (3)		・ 学校・学級 特別支援教育					グループワーク ディスカッション		
第5回	教育原理の問題 (4)		・ 人権教育					グループワーク ディスカッション		
第6回	教育原理の問題 (5)		・ 生涯学習、社会教育 安全確保 食育 情報教育					グループワーク ディスカッション		
第7回	教育原理の問題 (6)		・ 環境教育 学習評価					グループワーク ディスカッション		
第8回	学習指導要領の問題 (1)		・ 学習指導要領の変遷 各学校学習指導要領					グループワーク ディスカッション		
第9回	学習指導要領の問題 (2)		・ 道徳教育 特別活動 総合的な学習/探求の時間 外国語活動					グループワーク ディスカッション		
第10回	教育史の問題 (1)		・ 西洋教育史					グループワーク ディスカッション		
第11回	教育史の問題 (2)		・ 日本教育史					グループワーク ディスカッション		
第12回	教育心理の問題 (1)		・ 心理学の歴史					グループワーク ディスカッション		
第13回	教育心理の問題 (2)		・ 学習					グループワーク ディスカッション		
第14回	教育心理の問題 (3)		・ 乳児期の発達 身体発達 認知発達					グループワーク ディスカッション		
第15回	教育心理の問題 (4)		・ 自我の発達 親子関係の発達 社会性の発達					グループワーク ディスカッション		
評価 方法 及び 評価 基準	<p>評価項目及び評価の割合は以下の通りとする。 ・ 平常点：100% グループワークへの参加度・振り返りの充実度を評価する。</p>									
課題 等	<p>・ 教師は毎回の授業でグループ発表に対してコメントする。 ・ 振り返りはteamsを通じて提出する。</p>									
事前事後 学修	<p>・ 事前学修：指定された問題を解いて疑問点をまとめておく。 ・ 事後学修：授業を通じて浮かんだ疑問について調べる。事前事後合わせて3時間程度の学修を想定している。</p>									
教材 教科書 参考書	<p>・ 教科書 『教職教養の要点理解 2025年度版』時事通信出版局、2023年 (ISBN:978-4788719200) 『教職教養の演習問題 2025年度版』時事通信出版局、2023年 (ISBN:978-4788719217)</p>									
留意 点	<p>・ 授業計画はあくまで予定である。参加学生の興味関心等に応じて授業内容が変わることがある。</p>									

科目名	常識日本語B		科目ナンバリング	L-CUCA9-21.U	単位数 時間	2単位	対象 学年	2年	開講 学期	前期
			科目コード	B54008		30時間				
区分	キャリアサポート科目	選択	担当者名	鎌田 学			授業 形態	講義	単独	
授業 の 概要 等	<p>〔授業の主旨〕 社会人として求められる語彙力、読解力を高めるための授業。前者は辞書語彙と新聞語彙を含み、後者は抽象度の高い文章の読解と資料の読解を含む。プレゼン力養成のために、参加者が順番で新聞語彙解説を行う機会を設ける。なお、隔週で小テストを行う。 〔ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項〕 ディプロマポリシーの3・4に関連し、カリキュラムポリシーの3・4に関連している。</p>									
到達 目標	「日本語検定」1級、「漢字検定」準1級、「ニュース検定」2級のレベルに到達する。									
授 業 計 画										
回	主 題		授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修						備 考	
第1回	ガイダンス		授業の進め方							
第2回	辞書語彙		文学作品に親しみながら語彙を増やす							
第3回	辞書語彙②		文学作品に親しみながら語彙を増やす②							
第4回	新聞語彙－憲法と安全保障		語彙解説						プレゼンテーション	
第5回	新聞語彙－人口減少社会		語彙解説						プレゼンテーション	
第6回	新聞語彙－文化の保護と活用		語彙解説						プレゼンテーション	
第7回	新聞語彙－日本経済の行方		語彙解説						プレゼンテーション	
第8回	新聞語彙－貿易		語彙解説						プレゼンテーション	
第9回	新聞語彙－世界秩序		語彙解説						プレゼンテーション	
第10回	新聞語彙－情報社会		語彙解説						プレゼンテーション	
第11回	新聞語彙－先進医療と倫理		語彙解説						プレゼンテーション	
第12回	新聞語彙－変わる食生活		語彙解説						プレゼンテーション	
第13回	文章読解		入社試験レベルの文章を読む							
第14回	資料読解		図表を使った文章を読む							
第15回	まとめ		全体のまとめ							
評価 方法 及び 評価 基準	授業への参加度（40%）、小テスト（60%）。テストの評価は正解獲得点数によって行う。									
課題 等	小テストは実施翌週に返却。									
事前 事後 学修	小テスト対策に3時間程度必要。									
教材 教科書 参考書	「でる順×分野別 漢検問題集準1級 新装版」（旺文社、本体1485円、ISBN978-4010924532）									
留意 点	内容は前年度とほぼ同じ。									

科目名	小論文演習		科目ナンバリング	L-CUCA9-22. U	単位数 時間	2単位	対象 学年	2年	開講 学期	後期
			科目コード	B54009		30時間				
区分	キャリアサポート科目	選択	担当者名	山本 尚樹			授業 形態	講義	単独	
授業 の 概要 等	<p>〔授業の主旨〕 就職活動を念頭に置き、長文の執筆を実習形式で学んでいく。これにより読み手にとって説得力のある文章を執筆する能力や、論証の根拠を探す能力を身につける。 〔ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項〕 ディプロマポリシーの3・4に関連し、カリキュラムポリシーの3・4に関連している。</p>									
到達 目標	<p>1) 論証の根拠となる情報を収集できるようになる。 2) 根拠に基づきつつ適切な論理展開で文章を執筆できるようになる。</p>									
授 業 計 画										
回	主 題			授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修					備 考	
第1回	ガイダンス			授業全体の概要や履修上の注意点を説明する。						
第2回	アカデミック・ライティング（1）			レポートの書き方を復習する（論述の構成、フォーマット）。						
第3回	アカデミック・ライティング（2）			レポートの書き方を復習する（引用方法）。						
第4回	アカデミック・ライティング（3）			レポートの書き方を復習する（論証に焦点をあてる）。						
第5回	文章作成実践：キャリア形成（1）			自分自身の特性やこれまでの活動をまとめる。					PBL	
第6回	文章作成実践：キャリア形成（2）			卒業後自分が就きたい業種、職種について考える。					PBL	
第7回	文章作成実践：キャリア形成（3）			卒業後自分が就きたい業種、職種について調査する。					PBL	
第8回	文章作成実践：キャリア形成（4）			これまでの調査などを踏まえ志望理由書を書いてみる。					PBL	
第9回	文章作成実践：キャリア形成（5）			教員の指導のもと志望理由書を推敲する。					PBL	
第10回	文章作成実践：課題解決の提案（1）			自らが設定した業界、職種の現状を調査する。					PBL	
第11回	文章作成実践：課題解決の提案（2）			さらに調査し、それらの内容をまとめる。					PBL	
第12回	文章作成実践：課題解決の提案（3）			調査内容から今後解決すべき課題を設定する。					PBL	
第13回	文章作成実践：課題解決の提案（4）			さらに調査し課題の解決策を考える。					PBL	
第14回	文章作成実践：課題解決の提案（5）			解決策を提示し、これまでの内容を構成し、文章にまとめる。					PBL	
第15回	文章作成実践：課題解決の提案（6）			教員の指導のもと作成した文章を推敲する。					PBL	
評価 方法 及び 評価 基準	平常点（授業の参加態度、作業経過における成果物）40%、課題提出物60%									
課題 等	最終的には2つの長文レポートの作成が目標となるが、その経過でも調査、文章作成課題を課す。									
事前 事後 学修	上述の通り文章作成課題を随時だすので、確実にこなすこと。									
教材 教科書 参考書	必要な資料は適宜配布する。									
留意 点	文章作成の経過で、ディスカッションや口頭発表も行うことがある。									

科目名	実践英語 A (TOEIC)		科目ナンバリング	L-CUCA9-30. U	単位数 時間	2単位	対象 学年	2年	開講 学期	前期
			科目コード	B54010		30時間				
区分	キャリアサポート科目	選択	担当者名	野呂 佐枝子			授業 形態	講義	単独	
授業 の 概要 等	<p>〔授業の主旨〕</p> <p>日本において代表的な英語能力試験の一つであるTOEIC®テストは、就職や留学の際に英語能力を示すものとしてよく知られ、その重要性はますます大きくなっている。TOEIC®テストでより高い得点を取るためには、限られた時間内でできるだけ多くの正解を得なければならないので、英語の知識とこのテスト特有の形式をよく知ることが重要である。この授業は、TOEIC®テストを受けたことがない人にとってはその入門となるような基礎的な文法と語彙を身につけるものであり、受けたことがある人には理論と実践を通してより高いスコアをあげるためのものとなります。前期ではスコア400点から上の幅広い問題を扱うテキストを、後期はスコア500点程度(400-600点)をターゲットにしたテキストを用います。前期受講者には後期も継続して学習することをお勧めします。また、基本は常に説明していますので、後期からの受講ももちろん可能です。</p> <p>〔ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項〕</p> <p>ディプロマポリシーの3・4に関連し、カリキュラムポリシーの3・4に関連している。</p>									
到達 目標	<p>TOEIC®テストの形式に慣れ、それぞれのパートの特徴をつかむ。実際にTOEIC®テストを受験したり、テキストなどの問題をできるだけ多く解き、自分の弱点や不足している点を認識してそれを補強し、スコアアップにつなげていく。自分でスコアの目標を設定し、それに到達することを目指してください。</p>									
授 業 計 画										
回	主 題		授業内容・授業時間外の学修					備 考		
第1回	オリエンテーション		TOEIC®テストとはどのようなものか、その形式と内容について							
第2回	Unit 1		Food & Restaurant					ペアワーク、グループワークの場合あり		
第3回	Unit 1 および Unit 2		Entertainment					ペアワーク、グループワークの場合あり		
第4回	Unit 2		Entertainment					ペアワーク、グループワークの場合あり		
第5回	ボキャブラリー&グラマー#1		ボキャブラリービルディングと文法(プリント使用)					ペアワーク、グループワークの場合あり		
第6回	Unit 3		Travel					ペアワーク、グループワークの場合あり		
第7回	Unit 3 および Unit 4		Sports & Health					ペアワーク、グループワークの場合あり		
第8回	Unit 4		Sports & Health					ペアワーク、グループワークの場合あり		
第9回	ボキャブラリー&グラマー#2		ボキャブラリービルディングと文法(プリント使用)					ペアワーク、グループワークの場合あり		
第10回	ここまでのまとめと小テスト		TOEIC®形式の試験とボキャブラリーテスト							
第11回	Unit 5		Purchasing					ペアワーク、グループワークの場合あり		
第12回	Unit 5 および Unit 6		Housing & Accommodations					ペアワーク、グループワークの場合あり		
第13回	Unit 6		Housing & Accommodations					ペアワーク、グループワークの場合あり		
第14回	ボキャブラリー&グラマー#3		ボキャブラリービルディングと文法(プリント使用)					ペアワーク、グループワークの場合あり		
第15回	期末試験と前期のまとめ		期末試験と前期のまとめ							
評価 方法 及び 評価 基準	<p>毎回の授業の平常点 (20-30%) および各種テスト (20-30%) あわせて50%</p> <p>期末試験 50%</p> <p>実際のTOEIC®テスト受験を証明するもの(受験証またはスコアのコピー)を提出した場合は加点あり。</p> <p>授業への参加度、貢献度、協力度(以上平常点)と各種小テスト、および期末試験のすべてを合計して総合評価とする。</p>									
課題 等	<p>次の授業のところを予習してくることが毎回の課題です。</p> <p>また、少なくとも一冊はTOEICの問題集を手に入れて自分でやってみること。</p>									
事前事 後学修	<p>授業の予習は必須であり、予習しないで授業に参加することはできません。設問は毎回全員にあたります。授業の後は、わからないところは復習して理解し、期末試験までに不明な点をなくしておくこと。</p>									
教材 教科書 参考書	<p><i>Fast Pass for the TOEIC® L&R Test</i>. (『TOEIC® L&R スコアアップのコツ徹底マスター(改訂版)』、上仲律子、是近成子、ナショナルジオグラフィックラーニング、2019. ISBN978-4-86312-350-2</p>									
留意 点	<p>TOEIC® TEST L&R はリスニングとリーディングの試験なので、会話や作文には授業では触れませんが、設問の答えや読みは学生の皆さんにやってもらうので、あらかじめ単語の発音や文の読みはやってください。</p> <p>高校時代のものでも十分間に合うので、文法の参考書を必ず用意し、わからないところを調べて理解すること。(『エバーグリーン』『フォレスト』『いちばんはじめの英文法』『ロイヤル英文法』など)</p> <p>授業中のスマートフォンの使用は原則として禁止します。詳細は初回の授業で説明しますので、必ず出席してください。</p>									

科目名	実践英語B (TOEIC)		科目ナンバリング	L-CUCA9-31. U	単位数 時間	2単位	対象 学年	2年	開講 学期	後期	
	キャリアサポート科目	選択	科目コード	B54011		30時間					
区分			担当者名	野呂 佐枝子			授業 形態		講義		単独
授業の概要等	<p>【授業の主旨】 日本において代表的な英語能力試験の一つであるTOEIC®テストは、就職や留学の際に英語能力を示すものとしてよく知られ、その重要性はますます大きくなっている。TOEIC®テストでより高い得点を取るためには、限られた時間内でできるだけ多くの正解を得なければならないので、英語の知識とこのテスト特有の形式をよく知ることが重要である。この授業は、TOEIC®テストを受けたことがない人にとってはその入門となるような基礎的な文法と語彙を身につけるものであり、受けたことがある人には理論と実践を通してより高いスコアをあげるためのものとなります。前期ではスコア400点から上の幅広い問題を扱うテキストを、後期はスコア500点程度(400-600点)をターゲットにしたテキストを用います。前期受講者には後期も継続して学習することをお勧めします。また、基本は常に説明していますので、後期からの受講ももちろん可能です。 【ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項】 ディプロマポリシーの3・4に関連し、カリキュラムポリシーの3・4に関連している。</p>										
到達目標	TOEIC®テストの形式に慣れ、それぞれのパートの特徴をつかむ。実際にTOEIC®テストを受験したり、テキストなどの問題をできるだけ多く解き、自分の弱点や不足している点を認識してそれを補強し、スコアアップにつなげていく。自分でスコアの目標を設定し、それに到達することを目指してください。										
授 業 計 画											
回	主 題			授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修					備 考		
第1回	オリエンテーション			TOEIC®テストとはどのようなものか、その形式と内容について							
第2回	Unit 1			The Weather (Listening)					ペアワーク、グループワークの場合あり		
第3回	Unit 1 および Unit 2			Shopping (Reading)					ペアワーク、グループワークの場合あり		
第4回	Unit 2			Shopping (Reading)					ペアワーク、グループワークの場合あり		
第5回	ボキャブラリー&文法#1			ボキャブラリービルディングと文法(プリント使用)					ペアワーク、グループワークの場合あり		
第6回	Unit 3			At the Airport (Listening)					ペアワーク、グループワークの場合あり		
第7回	Unit 3 および Unit 4			Travel (Reading)					ペアワーク、グループワークの場合あり		
第8回	Unit 4			Travel (Reading)					ペアワーク、グループワークの場合あり		
第9回	ボキャブラリー&文法#2			ボキャブラリービルディングと文法(プリント使用)					ペアワーク、グループワークの場合あり		
第10回	ここまでのまとめと小テスト			TOEIC®形式の試験とボキャブラリーテスト							
第11回	Unit 5			Health (Listening)					ペアワーク、グループワークの場合あり		
第12回	Unit 5 および Unit 6			Housing (Reading)					ペアワーク、グループワークの場合あり		
第13回	Unit 6			Housing (Reading)					ペアワーク、グループワークの場合あり		
第14回	ボキャブラリー&文法#3			ボキャブラリービルディングと文法(プリント使用)					ペアワーク、グループワークの場合あり		
第15回	期末試験と前期のまとめ			期末試験と前期のまとめ							
評価方法及び評価基準	<p>毎回の授業の平常点 (20-30%) および各種テスト (20-30%) あわせて50% 期末試験 50% 実際のTOEICテスト受験を証明するもの (受験証またはスコアのコピー) を提出した場合は加点あり。 授業への参加度、貢献度、協力度 (以上平常点) と各種小テスト、および期末試験のすべてを合計して総合評価とする。</p>										
課題等	<p>次の授業のところを予習してこることが毎回の課題です。 また、少なくとも一冊はTOEICの問題集を手に入れて自分でやってみること。</p>										
事前事後学修	<p>授業の予習は必須であり、予習しないで授業に参加することはできません。設問は毎回全員に当たります。授業の後は、わからないところは復習して理解し、期末試験までに不明な点をなくしておくこと。</p>										
教材教科書参考書	<p><i>Simply 500: Acing the TOEIC® Listening & Reading Test</i> (『エースTOEIC®500』改訂版)、Terry O' Brien、三原 京、阪上 潤、木村博是、南雲堂、2022。 ISBN 978-4-523-18525-3</p>										
留意点	<p>TOEIC® TEST L&R はリスニングとリーディングの試験なので、会話や作文には授業では触れませんが、設問の答えや読みは学生の皆さんにやってもらうので、あらかじめ単語の発音や文の読みはやってください。 高校時代のもので十分間に合うので、文法の参考書を必ず用意し、わからないところを調べて理解すること。(『エバーグリーン』『フォレスト』『いちばんはじめの英文法』『ロイヤル英文法』など) 授業中のスマートフォンの使用は原則として禁止します。詳細は初回の授業で説明しますので、必ず出席してください。</p>										

科目名	基礎数学A(SPI)		科目ナンバリング	L-CUCA9-40. U	単位数 時間	2単位	対象 学年	2年	開講 学期	前期
			科目コード	B54014		30時間				
区分	キャリアサポート科目	選択	担当者名	坂井 任			授業 形態	講義	単独	
授業 の 概要 等	<p>〔授業の主旨〕 社会人基礎力として要求される算数力を確実に身につける。就職試験にも使われるSPI試験の非言語問題を通して基礎的な数的処理能力を養う。 〔ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項〕 ディプロマポリシーの3・4に関連し、カリキュラムポリシーの3・4に関連している。</p>									
到達 目標	SPI試験の非言語問題の考え方を理解する。基礎的な計算が速く確実にできるようにする。									
授 業 計 画										
回	主 題		授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修						備 考	
第1回	ガイダンス+お試し実力テスト		ガイダンス お試し実力テスト							
第2回	単元別徹底攻略①		仕事算/損益算/分割払い/料金割引							
第3回	単元別徹底攻略②		料金精算/速度/旅人算/グラフの領域						復習テスト	
第4回	単元別徹底攻略③		グラフの計算/資料解釈/表の読み取り						復習テスト	
第5回	単元別徹底攻略④		長文読み取り/順列・組み合わせ/確率						復習テスト	
第6回	単元別徹底攻略⑤		割合/集合/推論①						復習テスト	
第7回	単元別徹底攻略⑥		推論②/物の流れ						復習テスト	
第8回	実戦テスト 1日目		非言語問題 1日目						復習テスト	
第9回	実戦テスト 2日目		非言語問題 2日目						復習テスト	
第10回	実戦テスト 3日目		非言語問題 3日目						復習テスト	
第11回	実戦テスト 4日目		非言語問題 4日目						オンデマンド授業	
第12回	実戦テスト 5日目		非言語問題 5日目						復習テスト	
第13回	実戦テスト 6日目		非言語問題 6日目						復習テスト	
第14回	実戦テスト 7日目		非言語問題 7日目						復習テスト	
第15回	試験解答		試験解答						この授業は最終週 に行う	
評価 方法 及び 評価 基準	授業への取り組み(45%)・前回授業内容の復習テスト(25%)・試験(30%) 試験を受けなかった場合、未履修扱いとなる。									
課題 等	復習テストは採点して返却し、解答を配布する。 試験の答えは採点して返却する。									
事前 事後 学修	各回毎に授業時間内にできなかった教科書の問題を自習しておくこと。 復習テストで、できなかった問題は復習すること。									
教材 教科書 参考書	『7日のできる!SPI必勝トレーニング'26年度版』高橋書店(本体1,250円+税) ISBN 978-4-471-43128-0 ※ 発行年度を間違えないこと									
留意 点	復習をきちんと理解できないところを残さないようにすること。ほぼ毎回「前回授業内容の復習テスト」を行う。 第11回はオンデマンド授業です。詳細はTeamsで指示します。以後の回の授業が1週繰り上げになります。 14週目(今年度は7月19日)に試験を行い、15週目(今年度は7月26日)に上記第15回の内容を行う予定である。									

科目名	基礎数学C(数学検定)		科目ナンバリング	L-CUCA9-42. U	単位数 時間	2単位	対象 学年	2年	開講 学期	後期
			科目コード	B54016		30時間				
区分	キャリアサポート科目	選択	担当者名	坂井 任			授業 形態	講義	単独	
授業の概要等	<p>[授業の主旨]</p> <p>数学検定3級の問題を通じて、社会人基礎力として要求されるレベルの数学に再チャレンジする。</p> <p>[ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項]</p> <p>ディプロマポリシーの3・4に関連し、カリキュラムポリシーの3・4に関連している。</p>									
到達目標	数学検定試験3級(中3レベル)の数学の力が身に付く。									
授 業 計 画										
回	主 題		授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修						備 考	
第1回	ガイダンス+お試し実力テスト		ガイダンス お試し実力テスト							
第2回	式の展開・因数分解		多項式と多項式の乗法 式の因数分解							
第3回	数の計算/文字式		正負の数の加法、減法/累乗を含む正・負の数の四則演算/平方根の加減/かっこのある平方根の式の計算/文字式						復習テスト	
第4回	式の計算		多項式の加法・減法/分数の形の式の加法・減法/単項式の乗法・除法/等式変形						復習テスト	
第5回	1次方程式・2次方程式		1次方程式の解き方/分数係数の1次方程式/2次方程式の解き方						復習テスト	
第6回	連立方程式/方程式		代入法/加減法/方程式文章題						復習テスト	
第7回	比例と反比例・関数 $y=ax^2$		比例と反比例/関数 $y=ax^2$						復習テスト	
第8回	関数		関数の応用問題						復習テスト	
第9回	図形の角		平行線と角/多角形の角/三角形の内角と外角の性質/円周角の定理						復習テスト	
第10回	三角形と四角形/図形の相似・三平方の定理		三角形の合同条件と平行四辺形の性質/図形の相似・三平方の定理						復習テスト	
第11回	空間図形		空間図形						復習テスト	
第12回	データの分布/確率		(分布の)範囲と度数分布表/同じ出方が繰り返される場合の確率						復習テスト	
第13回	確率/データの活用		表を利用してもれなく調べる/データの活用/四分位数と箱ひげ図						復習テスト	
第14回	標本調査		標本調査						復習テスト	
第15回	試験解答		試験解答 (この授業は最終週に行う)							
評価方法及び評価基準	<p>授業への取り組み(45%)・前回授業内容の復習テスト(25%)・試験(30%)</p> <p>試験は、数検3級を解く実力を試す問題を出す。試験を受けなかった場合、未履修扱いとなる。</p>									
課題等	<p>復習テストは採点して返却し、解答を配布する。</p> <p>試験の答えは採点して返却する。</p>									
事前事後学習	<p>復習テストで、できなかった問題は復習すること。</p> <p>事前事後学習は3時間程度が望ましい。</p>									
教材教科書参考書	<p>『ユーキャンの数学検定ステップアップ問題集 3級 (第4版)』自由国民社(本体1,000円+税) ISBN 9784426614775</p> <p>※ 級を間違えないこと ※(第3版)以前は内容が違いため不可。</p>									
留意点	<p>復習をきちんと理解できないところを残さないようにすること。ほぼ毎回「前回授業内容の復習テスト」を行う。</p> <p>15週目(今年度は1月24日)に試験を行い、最終回に上記第15回の内容を行う予定である。</p>									